

## 教育心理学研究室における学びの新しいかたち『学習開発活動』

### 【概要】

教育心理学研究室では、子どもが主体的に学習に取り組むことが出来る「学びの工夫・改善」に努めています。本年度10月からは、子どもの更なる学びの充実を見据え、高知大学教育学部の実験室に子どもを招き入れ、「学習開発活動（個別学習支援）」を試行的に運営しています。当該活動では、児童の実態や様々なニーズに応じつつ、学びの自律を誘うため、教職志望の大学生が担当児童に寄り添い、学びに必要な土台作りや学びの楽しさを感じてもらうことを目指しています。当該活動で獲得した担当児童の様子や成長は、簡易的な概要を紙媒体でお迎えの際に保護者にお渡し、その後、実践報告に基づく詳細な概要も共有し、家庭教育の資源の1つとして役立てて頂いています。なお、実践報告に基づき、教職志望の大学生の学びを深めることも目指しています。

### 【学習開発活動（個別学習支援）の『様子』と『簡易的な概要の一部』】



#### 【学習開発活動の内容】

児童は、学びの伴走者となる教職志望の大学生の存在、個に応じた学びがデザインされていることにより、学びに没入しています。また、なぜ分からない・理解出来ないのか等に関して、原因を教職志望の大学生と一緒に原因を探りつつ、学びを自分事として捉え、分かる・理解出来るまでのプロセスを児童のペースで楽しみながら活動を展開しています。

\*児童の顔写真等を掲載する旨は、保護者様よりご了承を頂いています。

日時	本時の「学習開発活動」での内容や良く出来た点
10.12(木)	手前、算数の宿題を仕上げ、「得意」と話しており、スラスラ解いていける。「11」、「2=2」、「1+1=2」、「1+1=2」、文を作る練習を仕上げた。クイズもくんと本が出たので、楽しんでいて良かった。
10.19(木)	今日は、算数のプリントと、漢字のプリントを仕上げた。漢字もあきらめずに取り組んでいます。文章問題は苦手なところもありますが、できるだけ答えを見ずにがんばって解いています。宿題も算数だけでなく漢字にも取り組んでいます。
10.26(木)	今日は、①タブレットで漢字の組み合わせクイズ②算数と漢字の宿題③算数の文章問題、分↔秒の単位変換、漢字のプリントを仕上げた。漢字は難しいところを自分から伝えてくれ、一画ずつ正確に書くと、スラスラ書けるようになっていた。最後まで一生懸命取り組んでいました。

### 【参加大学生の捉えた『活動の面白さ』と『自身の成長』】

本活動の面白さは、児童の成長を感じられることです。例えば、児童が分からない所があっても、粘り強く取り組み、分かる・理解出来るようになった時には、私自身もとても嬉しく思います。

私自身、成長できたと感じる点は、児童との密なコミュニケーションを通し、どこが分からないのかを見取り、様々な方法を試していく中で、児童に合った学習方法を提供できるようになってきたことです。まだまだ未熟な点もありますが、児童と共に成長し、この経験を教育現場でも活かしたいと考えています。

文責：教育心理学研究室 野中陽一郎 (ynonaka(AT)kochi-u.ac.jp)  
(AT)は@に置き換えてください